

令和2年度 行政評価の実施結果

1. 行政評価の目的

千曲市では、「①評価結果の公表による行政運営の透明性、信頼性の向上」「②経営感覚・コスト意識の醸成や事務事業の見直し・改善等による行政資源（職員、事業費、施設）の効果的で適正な配分」「③総合計画の進行管理と実施計画・予算への反映」「④職員の意識改革による地方分権への的確な対応」を目的に、平成19年度から実施しています。

第二次千曲市総合計画に基づく行政評価を実施するにあたり、これまで外部評価委員のご意見や監査委員のご指摘を踏まえ、施策の成果や課題、改善点を明らかにした簡潔でわかりやすい評価方法へと見直しを行い、PDCAサイクルでいう「C（評価）」と「A（改善）」の部分の改善を図りました。このPDCAサイクルを適切に回すことにより、予算や行政資源の最適化を図っていきます。

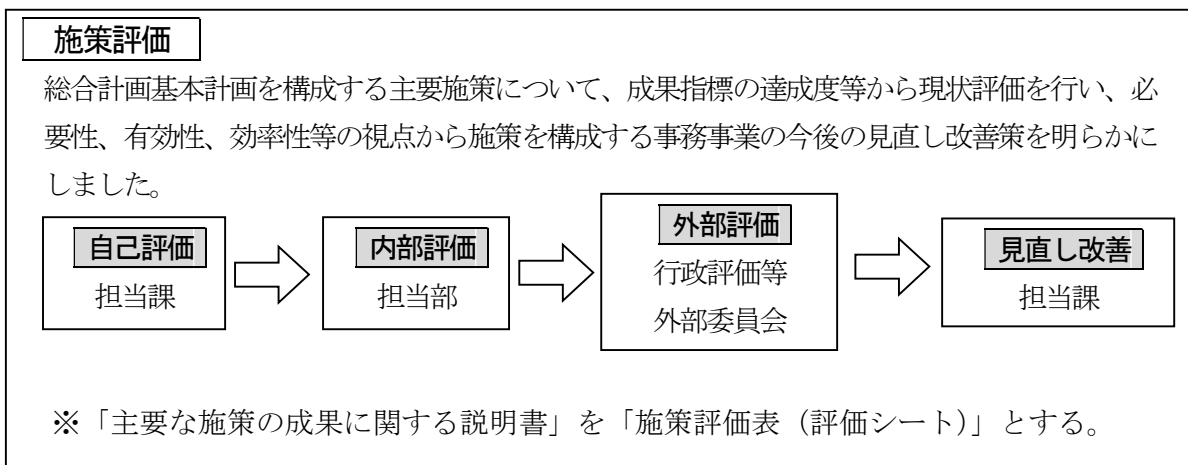
2. 評価対象（施策評価対象事業は「主要な施策の成果に関する説明書」記載事業）

施策評価は、第二次千曲市総合計画「前期基本計画」を踏まえて決定した「平成31年度施政方針」の中から、重点施策に掲げた6施策19事業と主要施策に掲げた34施策61事業、計40施策80事業を対象としました。

政策評価は、第二次千曲市総合計画の基本構想に掲げた基本目標6項目を評価の対象としました。

また、本年度は千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「千曲市総合戦略」という）について総括を実施し、外部委員より評価いただきました。

3. 評価手順

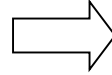


政策評価

施策評価と成果指標を踏まえ、行政評価等外部委員会にて総合計画基本構想の基本目標を単位に政策の進捗状況を明らかにしました。その結果を受けて、部長会議で評価を確定（「総合評価」）しました。

行政評価等外部委員会

- ・基本目標ごとの「成果指標」
- ・総合戦略「KPI」
- ・外部評価の結果
- ・市民満足度調査 など

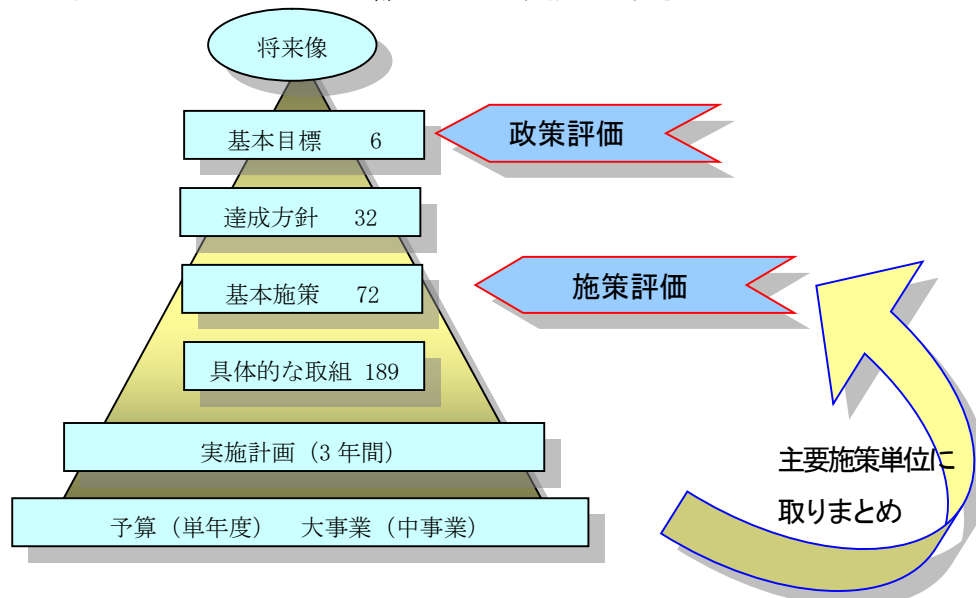


部長会議

総合評価

千曲市総合計画・基本計画体系

《 科野の国 しなのさらしな はにしな しと史都がにぎわう信州の交流拠点 千曲 》



4. 施策評価

(1) 自己評価

基本計画の主要施策について、各担当課で施策評価表（主要な施策の成果に関する説明書）を用いた自己評価を行いました。

また、『成果指標』と『重要業績評価指標（KPI）』の達成状況から現状の評価を行い、事業の「必要性」「有効性」「効率性」などの観点から課題を総括し、今後の改善策を明らかにしました。

(2) 内部評価

担当部で自己評価を検証し、施策の進捗状況や課題などを踏まえ、期待と成果の観点から現状評価を行い、特筆すべき成果や課題、今後の改善点・方向性などについて総括しました。

(3)外部評価（「別紙1」のとおり）

評価の客観性をより高めるため、行政評価等外部委員会において内部評価を検証しました。委員が選定した8事業について、施策の進捗状況や課題等から現状評価を行い、課題や今後の改善点・方向性等についての委員の意見を取りまとめました。

5. 政策評価

(1)外部評価（「別紙2」のとおり）

行政評価等外部委員会において、施策評価や成果指標などを踏まえ、第二次千曲市総合計画「基本構想」に掲げた基本目標ごとの進捗状況を明らかにし、委員の意見を取りまとめました。

また、本年度は、「千曲市総合戦略」の重要業績評価指標（KPI）の達成状況を明らかにし、委員の意見を取りまとめました。（別紙3 千曲市総合戦略 総括にて掲載）

(2)総合評価

外部評価を踏まえて、部長会議において政策に対する現状評価を決定し、政策の進捗状況を確定しました。

6. 千曲市総合戦略 総括（「別紙3」のとおり）

平成27年度に策定した「千曲市総合戦略」の計画期間が令和元年度に一旦終了（2年延長）したことから、本年度の行政評価において総括を実施しました。

千曲市総合戦略掲載の重要業績評価指標（KPI）と具体的な取組について、各課において事業評価を実施し、「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業実施状況一覧（資料2）」に取りまとめました。

また、外部評価委員より、総括に対し客観的な意見をいただき評価を実施しました。

7. 総合評価（令和2年10月22日部長会議）

- 総合計画においては、個別分野の進捗状況に差はあるものの、基本目標1から基本目標6までの全目標で7割以上の達成率であり、平成30年度より達成率・達成項目が上昇・増加していることから「比較的順調」であるといえるが、個別分野によっては未達成や前年より後退した指標があることから、行政評価等外部委員会の意見を踏まえ引き続き目標達成に努めることとする。
- 第1期千曲市総合戦略においては、KPIの進捗率は順調に推移し、事業の実施状況及び事業の成果としては、85%を超える高い実施率と成果を示したことから評価できると総括する。
- 指標の設定、KPIの設定は、後期基本計画・次期総合戦略策定時に見直しを実施する。
- 各事業において、PDCAサイクルを常に意識し、評価・改善を継続して行うことにより事業を遂行する。

8. 行政評価の活用

(1) P D C Aサイクルの確立

P (計画) D (実行) C (評価) A (改善)サイクルを確立し、明らかになった事務事業の課題や見直し改善策の着実な実施に努めます。

(2) 評価結果の公表

行政運営に対する透明性、信頼性を高めるため、庁舎窓口やホームページなどを通じて広く評価結果を公表します。